



市立室蘭総合病院 広報誌

# くじらんネット

病院の理念  
おもいやりの心がかよう病院

## 病院の基本方針

- ・信頼される医療を持続的に提供します。
- ・自治体病院としての役割と責任を担います。
- ・経営の健全化と効率化に努めます。

## 肩がどうしても上がらない しかも痛くて困っている方に朗報 リバーズ型人工肩関節置換術

副院長/整形外科部長 いし かわ いち ろう  
リハビリテーションセンター長 石 川 一 郎



70歳を超えて残りの人生を色々楽しもうかなと思っていた矢先、肩が痛くて上がらない、しかもちょっと動かすだけでもゴリゴリ音がして痛みが強い、何をするにも支障がある。病院にかかったけど良くならない、「どうしようもない」と言われた…。こんな悩みをお持ちの方も多いのでは。

その原因として腱板断裂に伴う変形性の肩関節症が考えられます。加齢に伴い脆くなった腱が切れてしまい、その状態が長引いているうちに肩の関節そのものが傷んできた状態です。関節そのものが傷んでいますので、人工関節の手術が必要となります。今までは腱の修復ができないことが多く、痛みはとれるものの肩の上がりが悪いということが多く見られました。

2014年より日本でもリバーズ型の人工肩関節が認可、使用可能となりました。全く新しい考え方の人工関節で、痛みが取れるだけでなく肩の上がりもある程度期待できるものです。この手術は先行使用開始されたアメリカや韓国でいくつかのトラブルを生じたため、日本では一定の基準をクリアした肩関節の専門医のみが行える、認可制度が採られました。

当院でも翌2015年より同手術を導入・開始し、その後は安定した結果が得られております。その適応は厳しく制限がされていますが、肩に痛みを抱え今までの治療法では良くならずに悩んでいた患者さんにとっては、とても良い治療法と言えます。

今まで肩の痛みで悩んでいた方、しょうがないとあきらめていた方は一度相談にいらしてください。



手術前の右肩MRI



手術後のレントゲン

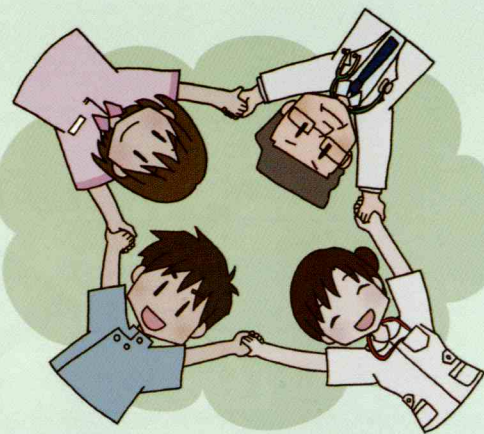


手術後の拳上



市立室蘭総合病院の

# チーム医療



「チーム医療」とは、院内の様々な職種の職員が連携して 1 つのチームとなり、治療や支援を進めていくものです。様々な職員がそれぞれの専門スキルを発揮し、チーム内で情報を共有することにより、患者さんの状態に合わせた治療やケアを行っていきます。当院でも多くのチームが立ち上げられており、「おもしろい心」がこもった質の高い医療が提供できるよう、日々活動しています。

## Vol. 1 がん化学療法チーム

「がん化学療法チーム」は、「安心・安全・確実な抗がん剤投与を行う」ことを目標に、化学療法委員会のもと 2012 年 8 月に立ち上がりました。

医師・薬剤師・看護師・栄養士・メディカルソーシャルワーカー・事務局・検査技師・放射線技師・リハビリなど、院内の様々な職種がメンバーとなり、月 1 回がん治療や看護・支援について勉強会を開催し、院内の多職種に対して啓蒙活動を行っています。

現在では、患者さん中心のチーム医療をめざし、院外のセミナーに院内多職種がチームを組んで年間約 15 名が参加して、意識を高めています。

また、医療者のみならず、患者さんやご家族に向けても、年 4 回「ケモかわら版」を発刊し、チームの活動やがんについての情報を、各外来・病棟などに発信しています。

昨年 4 月からは、北海道内でも数少ない「がん薬物療法専門医」の資格を持つ、消化器内科 小野寺馨医師がチームのリーダーに就任し、ますます知識・技術の向上を目指したチームの活動を行ってまいります。

今後も患者さん・ご家族の方たちが安心して治療を受けられるように、チーム一丸となって活動していきますので、よろしくお願いいたします。



〈がん化学療法チーム〉



〈チームリーダー:小野寺 馨 医師〉



## Vol.2 栄養サポートチーム (NST)

私たちは普段、口から食事をとって栄養を補給しています。しかし、病気やけがで食事がとれなくなると必要な栄養を取ることが難しくなることがあります。このような状態が長く続くと栄養状態は低下し、傷が治りにくい、手術後の回復が遅い、感染症などの合併症が起こりやすい、といった問題が生じることもあります。

当院には、栄養サポートチーム (Nutrition Support Team : NST) というチームがあり、2004年から活動しています。

NSTとは、医師・看護師・臨床検査技師・理学療法士・言語聴覚士・管理栄養士などのスタッフが協力し、患者さんの状態・病状に応じて最善の栄養管理を提供するチームです。

急性期疾患や長期入院中の患者さんにとって、栄養状態を良好に保つことは治療効果を上げる大きな役割を担います。

食欲がなく思うように食事がとれない、手術前後の食事の管理、化学療法の副作用で食事がとれない・または食事量が減っている、など栄養管理が必要な患者さんの食事の調整やサポートを行っています。

毎週月曜日に回診、毎週木曜日にミーティングを実施し、定期的に患者さんの栄養評価を行い、適切な栄養量や投与方法等を検討しています。

当院で2004年にNSTの活動を始めてから2017年までの新規依頼患者数は、累計1,194名となりました。

今後も患者さんの治療、回復、早期退院、社会復帰を図ることを目標とし、チーム一丸となって活動していきますので、よろしくお願いいたします。



〈ミーティングの様子〉







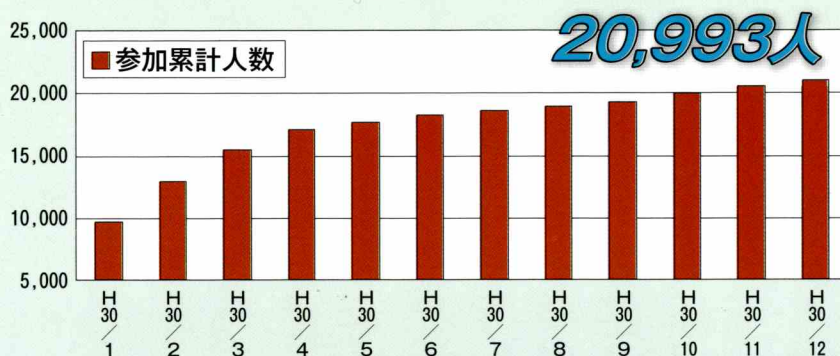
# スワンネット

地域医療介護情報  
ネットワークシステム

## に参加しませんか?

スワンネットは、病院・医科診療所・歯科診療所・薬局・介護事業所などの施設が参加して、住民のみなさんの医療・保健情報を共有し、質の高い医療・介護・健康サービスを提供するものです。昨年からは西胆振地域で稼働を開始しています。

当院もこのスワンネットに参加し、当院で行った治療や服薬情報、その他医療情報、体質に関する情報をスワンネットに参加している他の医療機関や施設をみなさんが利用する際に活用できるように提供しております。開始から約1年が経過し、参加された市民の方は下記のグラフのように2万人を越えました。(平成30年12月末)



このスワンネットに参加することで、別の医療機関等での治療や処方されている薬のことなどを説明する手間が少なくなります。さらに他の施設での検査や薬の重複が少なくなります。そして自分の医療情報・薬・体質に関する情報が共有されるため、救急搬送されたときにも安心です。

まだ参加されていないみなさん、ぜひ参加しませんか。

ご希望の方は、⑥医療相談窓口にお越しください。

### 医療連携・ 患者支援 推進 センター

#### 【お問い合わせ】

市立室蘭総合病院1階⑥医療相談窓口へお越しいただくか  
電話0143-25-2241(平日8:50~17:20) /  
地域連携室(医療福祉相談)へご連絡ください。

#### 患者・家族の皆様の権利とお願い

医療は、患者の皆様と医療従事者との相互の信頼と協力によって実践されます。両者は、単なる契約関係やパターナリズム(親権主義)にあるのではなく、お互いの信頼感に支えられている「良いパートナーの関係」にあることが最も望ましいと考えております。この考えのもとに市立室蘭総合病院は、患者の皆様への権利と意思とを尊重して、患者・家族の皆様と一緒に治療に参加できるような最善の医療の提供に努めております。

#### 患者の皆様への権利と責務

##### 皆様の権利

1. ご自身にとっての最善の医療を受けることができます。
2. ご自身の病気の診断・病状・治療方針などについて、分かりやすい言葉や方法での納得できる説明と的確な情報を受けることができます。
3. ご自身(あるいは家族)の意思で治療方法が選択し決定できますし、また他の病院の意見を求めることも、臨床研究中の新しい治療に関する情報の提供を受け、これに参加することもできます。
4. ご自身のプライバシーが守られ、診療明細書の提示や自身の診療記録の開示を求めることも、また知りたくない情報を拒否することもできます。

##### 皆様の責務

5. ご自身の人格・人生観・価値観・宗教観・趣味趣向などは尊重されますが、診療・治療上の必要な指示や助言はお守りください。
6. 通院・入院中は院内規則を守り、迷惑行為を慎んでください。
7. 受けた医療に対しての医療費(自己負担分)は必ずお支払ください。(責務を守って頂けない場合は、当院での医療提供が継続できないこともあります。)



市立室蘭総合病院 広報委員会

〒051-8512

室蘭市山手町3丁目8番1号

事務局総務課

TEL (0143) 25-3111 FAX (0143) 22-6867

<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org8400/>